

主な内容

- 3つの基本目標と推進目標
- 食育推進計画を進めるためには――2・3
- 地域で食育を実践――4

発行/松戸市 編集/健康福祉本部 企画管理室
 〒271-8588 松戸市根本387-5 ☎047-366-7350 047-360-1295
 e-mail mckenkikaku@city.matsudo.chiba.jp
 http://www.city.matsudo.chiba.jp/

食育

近年、食をめぐる状況が急激に変化し、「食品の安全性の問題」「食生活やマナーの乱れ」「食料自給率の低下」そして「食べ残しや食品廃棄の問題」が問われています。日々の暮らしが豊かになる一方、飽食の時代になり、私たちは忙しい生活を送る中で、生命を育む「食」の大切さを忘れがちです。

市では、このような食をめぐる状況の変化の中で、市民の皆さんが「食の大切さと郷土のすばらしさを知り、生涯を通じて健やかに生きる」ことができるよう、3つの基本目標からなる「松戸市食育推進計画」を策定しました。

今回は、計画の概要をお知らせします。

健康福祉本部企画管理室 ☎366-7350



昨年6月に行なわれた市役所正面玄関前のキッチンガーデンでの収穫

食で育む松戸の未来

～食育推進計画ができました～

松戸らしい食育の推進を目指して

市では健康日本一を目指して、平成18年度に「松戸の食を考える」食育推進準備会を立ち上げ、松戸の食の在り方について議論を重ね、食育の基本理念と食育推進の3原則「独自性」「総合性」「継続性」についての提言をいただきました。

平成19年度からは本格的な食育の推進を図るため、食育推進委員会や、委員の代表からなる食育推進計画策定作業部会を設置し、検討を重ねました。また、計画策定の一環として、市内4大学と市の連携による食育市民アンケートの実施、産学官フォーラムの実施や食育推進イベントを実施するなど、市内の食に関する資源を生かし、食の視点から地域を見つめ、計画づくりを進めました。



食育劇「ご老公食育漫遊記～元禄松戸村～」

松戸の食育基本理念

食の大切さと郷土のすばらしさを知り、生涯を通じて健やかに生きる

食育推進の3原則

独自性

松戸だからできること

- ・緑花清流、ひと・もの・しぜを大切にすまちなちづくり「もったいない運動」
- ・松戸独自方式の中学校給食
- ・松戸市無農薬栽培研究会
- ・2つの市場
- ・3つの工業団地
- ・4つの特色ある大学 など

松戸の地域資源を生かした食育の推進

総合性

松戸は、人と人を結ぶ

- ・江戸時代、水戸道中の宿場があった街、現在は、駅が多く重要交通結節点。道路や河川も多い。
- ・市民とともに協働のまちづくりを推進中
- ・国・県と食育推進事業を連携
- ・産学官の連携 など

ネットワークを生かした取り組み

継続性

一過性のブームではない

- ・食は、日常の身近な生活の一部であり息の長い継続した取り組みが必要
- ・食育の実践の場を増やし、松戸の食育を市内外に発信
- ・来て見て実感できる食育イベントの定期的な開催 など

効率的な取り組みで目標を達成